

全組合員運動は組織拡大と要求前進の力 春闘アンケート・署名集約に全力を上げよう

建交労中央本部は 12 月 2 日～3 日に静岡県伊豆の国市内で 2018 年春闘中央討論集会を開催して参加した全国の仲間が 2018 年春闘方針（第一次案）を討議するとともに、秋年末闘争での春闘準備と組織拡大に全組織が全力でとりくむことを意思統一しました。討論集会には神奈川県南支部の佐藤委員長、大島書記長、赤羽特別執行委員の 3 名が参加しました。

討論で強調されたことの一つは全組合員の参加でアンケートや署名集約などの目標を達成することです。このなかで兵庫合同支部・阪急バスの仲間（組合員 17 人）が、昨年の春闘アンケート 700 人分を集約し組合員拡大と要求前進につなげて今年度は 1000 人分の集約をめざしていると発言し参加者から大きな拍手を受けました。

ちなみに神奈川県南支部における 12 月 6 日時点での今年度の春闘アンケート及び各種署名のとりくみ状況は下表のとおり、10 月 29 日の支部定期大会で決定した春闘アンケートの集約目標 1000 人からは大きく立ち遅れています。

建交労や全労連は、アンケートや署名のとりくみは全組合員参加が可能な活動で、その実践が組織拡大や要求の前進につながることを繰り返し指摘し運動方針として強調してきました。その方針の正しさを阪急バスの仲間が証明しました。

神奈川県南支部の全分会・全組合員が改めてアンケートや署名活動の重要性を再確認して、年内にやるべき課題を総達成して意気揚々と 2018 年春闘を迎えましょう。



	2018年春闘アンケート				各種署名						
	トラック職 場	一般 パート	トラック 経営	アンケー ト合計	トラック 個人署名	トラック 団体署名	ヒバク シャが求 める 核廃絶署 名	9条改憲 反対 3000万 署名	過労死と 差別根絶 を求める 署名	生公連 署名	社会保 障 拡充署名
① 内外液輸	10			10	15		29	10	10		
② 福岡運輸	1			1			5		5		
③ 田中製菓		6		6			61				
④ イワサワ	15			15			3	5			
⑤ 東進産業	2			2			10		4		
⑥ 中日臨海	1			1				10	10		
⑦ 高橋運輸	4	4		8	5	1	9	17	9		5
⑧ 日酸運輸	13										
⑩ 扶桑運輸							2	6	5		
⑫ アズマインター											
⑬ 三昭運輸	6	4		10	5		25	15	25		
⑭ ギオン							3			5	5
⑮ 合同分会	1			1			28	22	20		
⑯ その他							5				
⑰ 県南支部	1			1	67		27				
合 計	54	14		55	92	1	207	85	88	5	10

11月25日&12月9日JR川崎駅前で宣伝 ティッシュ付ビラはアッという間に配布！

神奈川県南支部は、11月25日と12月9日にJR川崎駅前での宣伝・署名行動を実施しました。行動の目的は「安倍9条改憲NO！ 憲法を生かす全国統一署名（集約目標3000万人）」や「核兵器廃絶を求める国際署名（世界中で数億人の集約が目標）」の呼びかけと建交労の押し出しです。

毎回のことですが土曜日お昼前のJR川崎駅前でおこなう宣伝活動では、宣伝物の受け取りが驚くほど良く今回の2度の行動でも用意したティッシュ付



11月25日の行動に参加した仲間



12月9日の宣伝行動でマイクを握る仲間

き宣伝ビラはアッという間に無くなってしまい、宣伝物なしでハンドマイク宣伝と署名活動をおこなう時間帯を余儀なくされる状態でした。しかし、行動の参加者は支部執行委員のみで分会の参加者はゼロです。支部執行委員にお任せの運動は職場の運動をも停滞させます。アンケート活動と同様に宣伝活動は全組合員参加の活動としてとりくみことが組織の活性化と運動の前進につながることは言うまでもありません。次回からの宣伝活動には必ず各分会からの参加を位置付けるようにしてください。

“安倍改憲”を許すな！憲法講座パートⅡ 新谷講師が2時間半にわたり熱分振るう！

川崎学習協会と川崎労連共催による憲法講座の「パートⅡ」が11月25日(土)に川崎市立文化教育会館で開催され、神奈川県南支部からは前回(パートⅠ)の参加者4人を大きく超え、佐藤委員長はじめ8人が参加をしました。

前回に続いて講義をおこなった神奈川県労働者学習協会の新谷昌之副会長は、安倍政権の基盤が脆弱であるが故の危険性などを指摘すると同時に野党共闘の分断を乗り越えた総選挙での“アベ政治を許さない”広範な市民運動を含めた展望を示し、現在のたたかいの中心課題は「安倍9条改憲NO！ 憲法を生かす全国統一署名」3000万人集約の早期達成にあることを強調されました。



熱弁をふるう講師の新谷昌之さん

首都圏交運共闘総会(11/26)に2名出席！



2017.11.26～27 総代トラック員

首都圏交運共闘会議は、11月26日(日)に静岡県熱海市網代にある東京トラック健保あじろ保養所において第18回総会を開催し東京南部法律事務所の黒澤有紀子弁護士(左の写真)による「共謀罪」の学習会も行われました。

県南支部からは大島書記長と赤羽特別執行委員が出席、総会では運動の到達点と新年度の方針などが採択され、役員には大島書記長が事務局次長に再任されました。



被爆者は、すみやかな核兵器廃絶を願い、 核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、 すべての国に求めます。

人類は今、破滅への道を進むのか、命輝く青い地球を目指すのか岐路に立たされています。

1945年8月6日と9日、米軍が投下した2発の原子爆弾は、一瞬に広島・長崎を壊滅させ、数十万の人びとを無差別に殺傷しました。真っ黒に焦げ炭になった屍、ずるむけのからだ、無言で歩きつづける人びとの列。生き地獄そのものでした。生きのびた人も、次から次と倒れていきました。70年が過ぎた今も後障害にさいなまれ、子や孫への不安のなか、私たちは生きぬいてきました。もうこんなことは、たくさんです。

沈黙を強いられていた被爆者が、被爆から11年後の1956年8月に長崎に集まり、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）を結成しました。そこで「自らを救い、私たちの体験を通して人類の危機を救おう」と誓い、世界に向けて「ふたたび被爆者をつくるな」と訴えつづけてきました。被爆者の心からの叫びです。

しかし、地球上では今なお戦乱や紛争が絶えず、罪のない人びとが命を奪われています。核兵器を脅迫に使ったり、新たな核兵器を開発する動きもあります。現存する1万数千発の核兵器の破壊力は、広島・長崎の2発の原爆の数万倍にもおよびます。核兵器は、人類はもとより地球上に存在するすべての生命を断ち切り、環境を破壊し、地球を死の星にする悪魔の兵器です。

人類は、生物兵器、化学兵器について、使用、開発、生産、保有を条約、議定書などで禁じて来ましたが、それらをはるかに上回る破壊力をもつ核兵器を禁じることに何のためらいが必要でしょうか。被爆者は、核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、すべての国に求めます。

平均年齢80歳を超えた被爆者は、後世の人びとが生き地獄を体験しないように、生きている間に何としても核兵器のない世界を実現したいと切望しています。あなたとあなたの家族、すべての人びとを絶対に被爆者にしてはなりません。あなたの署名が、核兵器廃絶を求める何億という世界の世論となって、国際政治を動かし、命輝く青い地球を未来に残すと確信します。あなたの署名を心から訴えます。

2016年4月

よびかけ被爆者代表：坪井直、谷口稜暉、岩佐幹三（以上、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）・代表委員）、田中熙巳（日本被団協・事務局長）、郭貴勲（韓国原爆被害者協会・名誉会長）、向井司（北米原爆被害者の会・会長）、森田隆（ブラジル被爆者平和協会・会長）、サーロー・セツコ（カナダ在住）、山下泰昭（メキシコ在住）

私は被爆者の訴えに賛同して署名します

名 前	住 所	募金

ご記入いただいたお名前や住所など個人情報は、この要請目的以外には使用しません。みなさんの署名は、毎年の国連総会に提出いたします。

【取扱団体】

原水爆禁止日本協議会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4 ☎03-5842-6031